

住み続けたい街への管理組合情報誌

リベ・コミ

R I B E R A C O M M U N I C A T I O N

2015年
秋号
Vol.17

平成 27年 11月 20日 発行

発行：リベラガーデン住宅団地管理組合法人

編集：広報専門部会

印刷：西日本ビジネス印刷株式会社



ホームページ
更新中!

<http://www.ribera906.net/>

リベラガーデン

検索



リベラちゃん

来 906

リベラガーデン906世帯の‘来’
題字：松尾 泰子



新理事会 メンバー紹介

私たちが、新しい理事会(20期)のメンバーです。

906世帯、約2,500人のみなさんが、
より生き生きと安全に、かつ共有財産を保全し、老いも若きもすこやかに暮らしていける。
そんな素敵な‘リベラガーデン’にすべく、頑張っていく私たちです。
どうぞよろしくお願いいたします。



- 後列左より I - 野上 E- 小川 J- 田中 (顧問) K- 大江 J- 松本 K- 古川 I - 加藤 A- 川辺
- 中列左より H- 林田 I - 品川 B- 東島 J- 岩崎 G- 谷山 (顧問) H- 加茂川 D- 小林
- 前列左より K- 山口博 J- 大熊 C- 武正 (副理事長) D- 境 (理事長) B- 吉嶋 (副理事長) D- 森畑 (副理事長) A- 廣瀬 (敬称略)

残念ながら撮影時お休みだった方
A- 田川 B- 船杉
C- 久松 E- 増田
G- 原田 G- 山口智
J- 東 (前理事長)

理事長あいさつ



20期理事長の境 (D 棟) です。
私はリベラガーデンの理事は2巡目になります。
これまで5期 (なんと15年前) では副理事長、昨年は全体の副理事長をさせていただきました。2巡目とはいえ未熟者ではございます。この1年間よろしくお願い致します。
20期管理組合は29人の理事と顧問で運営します。理事の方々は、家族との時間、仕事の時間、プライベートを犠牲にしてまで、リベラのために活動していただきます。
温かく見守り、管理組合の活動にご理解頂ければと思います。



専門部会

理事会には専門部会がいくつかあり、定例の理事会と別に、会議等を行なっています。

そこで、各専門部会がどんなことをしているのか、さらに、今年度はどうしていくのかをお伝えします。

昨年度は多すぎて（15部門もありました）、各理事も2つも3つもかけもちで、部会によってはやや消化不良のところもありました。今年度は7つに絞り込んで議論していきたいと思えます。

■インフラ

前年度の駐車場、長期修繕収支を発展的統合し、リベラガーデンの設備の整備・改良・更新を企画し、優先順位をつけて推進してまいります。

■植栽

年間植栽管理の確認や塩害等のさまざまな問題点を確認し、改善策について検討します。花の会との連携も強化します。

■広報

各専門部会、自治会等と連動し、年4回のコミュニティ誌（リベ・コミ）の発行と、ホームページの更新を中心に、リベラガーデンの住民の皆様にとって、役立つ・ためになる・楽しい広報を目指します。

■一般会計検討

リベラガーデンの一般会計の検討と、資金の運用方法等を検討します。

■自転車

前年に続き、自転車置場使用細則の整備及び不要自転車対策などの検討を行ないます。



■管理委託

管理会社と定期的な打合せを行ない、管理委託内容の変更の有無について検討します。

■管理規約

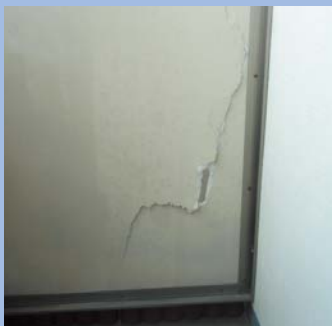
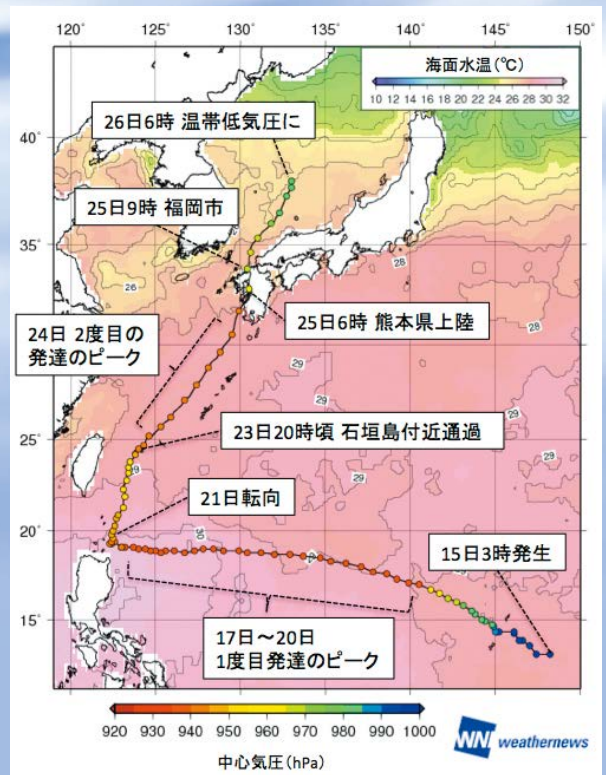
理事会で話されることなど、リベラガーデンに関する案件に対し、管理規約の見直しを行なっていきます。

☆防災

自治会と連携し、任意災害発生時登録フォームでの取得促進、防火・防災訓練の立案等を検討し、実践してまいります。

台風15号、リベラガーデン直撃

8月25日に熊本県荒尾市付近に上陸した台風15号は、九州を縦断し、北九州市から響灘を経て日本海に抜けた。右は民間の気象会社「ウェザーニューズ」が海水温と台風15号の進路を分析した図面。フィリピンの東海上で一度、勢力が発達した後、石垣島から九州に向かう途中で2度目の発達をしている。



この間、福岡市、西部を流れる室見川が氾濫危険水位を超えた為、福岡市は早良区福重、壱岐東、壱岐南の3校区を中心に約4万世帯に避難指示を出した。西鉄の路線バスも25日の始発からすべて運休し、市営地下鉄の地上区間や、西鉄電車、新幹線、在来線も一時すべて止まった。路線バスが止まるのは異例。



リベラガーデンは、雨による被害はなかったが、福岡管区気象台が07時に北の風28.0m/sを観測するなど、強い風で、写真の3点の飛来物があった。給湯器のカバーや網戸は、人間に当たった場合、危険極まりない。植栽も12箇所、倒木や枝折れ、傾きの被害が出て、安藤造園土木が伐採や修復をした。日頃、自分で出来るメンテナンスを心掛けたい。(N)



リベラ 伝言板

ちょっとしたネタを紹介していきます。
みなさんもしどしどし投稿してください。
センターに原稿や写真の持ち込みや
メール(ribera906pr@gmail.com)でどうぞ。



不要自転車整理

10月27日(火)に毎年恒例の自転車整理を実施しました。昨年は476台だったのが、今年は137台でした。やはり昨年の大量整理で、ぐっと減りました。自転車専門部会(通称チャリ専)では、自転車をより快適に乗っていただくために、いろいろ考えています。皆様からのご意見も待っています。

A棟:8台、B棟:8台、C棟:24台、D棟:11台、
E棟:19台、G棟:10台、H棟:13台、I棟:15台、
J棟:15台、K棟:14台

(自転車専門部会)



ホークス! 日本一おめでとう。

今年はスッキリ優勝決めてくれました。リーグに続き、クライマックスシリーズ、日本シリーズもすんなり勝ちました。11月22日(日)のパレード(呉服町→荒戸)は、ぜひ観に行きたいものですね。バンザイ!バンザイ!バンザイ!

※その昔、小久保さんも「リベラ」に住んでたんですよ~!



A棟懇親会



昨年のG棟に続き、今年はA棟が懇親会やっちゃいました。ちょっと参加者は少なかったのですが、こうして、定期的に行っていきたいとA棟の方は言われてました。各棟も、それぞれいかがですか?



ガーデンパーティや 防災訓練 などなど

10月24日(土)には、毎年のお楽しみ「ガーデンパーティ(自治会主催)」が開催されました。また11月9日(月)には、消防署の高層ビル防災訓練(消防署主催)が、I棟を中心に行なわれました。ちょっと天気が悪く、来る予定だったヘリは来ませんでした。ともに詳細は次号でたっぷり紹介します。お楽しみに。



小さな奇跡の連続

青い空、磯の香り、瀟洒な街並み、そんな愛宕浜の魅力にひかれて「リベラガーデン」に移り住んで、まもなく20年になります。今にして思えば、リベラガーデンの住人になってからは、「小さな奇跡の連続」と言えるような出会いがありました。

そもそも、ここに住むことになったこと自体、最初の小さな奇跡だったのかもしれませんが。私たち家族は、夫の仕事の関係で横浜、千葉、海外と、10年間で度重なる引越しを経て、福岡に来ました。その関係で、長男は幼稚園3つ、小学校も3つと立て続けに転校を重ね、「色々な学校に行くことができ、たくさんの人と知り合えていいね。」と、言い聞かせていましたが、本人への負担は大きく、今度こそじっくりと落ち着いて教育を受けさせたい親の思いもあり、4つ目の小学校に愛宕浜小学校を選択したというのも、ここに住む大きな要因でした。夫の転勤先が福岡だったということ以外、元々、夫も私も福岡とは縁もゆかりもない人間でしたが、1995年に行なわれたユニバーシアードのボランティアをしていた時、選手のパーティに招待していただきこの地を訪れ、前後してたまたま新聞広告で見つけたのが「リベラガーデン」でした。海外での伸びやかな生活から一転、福岡市内の狭いマンションで、近くに思い切り遊べる公園も無い状況で、家族全員疲れが出始めていた時でしたので、リベラガーデンを見つけた時には、とても救われた気がしました。そんな時出会ったのが、2番目の奇跡、D棟同じ階段に住む“ご近所会”の皆さんです。

D棟は、51世帯という比較的少ない世帯数で人の移動もあまりなく、私たちと同じ時期にここに来たご家族が多いのも特徴で、みなさん顔を合わせると気軽に笑顔であいさつを交わせる関係が築かれているように思います。そんな中でも、我が家と同じ階段の4家族は、家族ぐるみで一緒に食事をしたり、“ご近所カップ”と名付けたボウリング大会をしたりと、今でも仲良くしていただいております。子どもたちはみんな1歳違いで、病院や塾、受験の情報を教えていただくなど、福岡のことがほとんど分からなかった私たちにとっては、とても大きな支えとなりました。また、お互いの子どもたちの成長を自分の子どものような気持ちで見守り、喜び、時には涙したり、ご主人や夫の単身赴任中にはお互いに支えあったりして、自分にとってはご近所会あってこそその20年間でした。この方々がいなければ心が折れてしまっていたかもしれません。この20年間で、子どもたちは成長しそれぞれの道を歩んでおりますが、これからはずっと、多くを語らなくても支えあえる、大切な存在です。

ご近所会に限らず、私たちの階段では、乳幼児や高齢者など手助けが必要なご家庭を把握しています。きちんとした決めごとが無くて、災害が起こった時に備え、声かけや確認が必要な方は、日常的に会話をするようにしています。集合住宅では薄れがちな人間関係も、上手に距離を保ちながら築くことができている、とても心地よい居場所になりました。

3番目の奇跡は、平成25年度自治会役員の皆さんとの出会いです。会長を仰せつかった時は、初めてお目にかかる方がほとんどで不安ばかりでしたが、みなさんコミュニティ作りへの関心が高く、様々な問題にも真剣に立ち向かい協力して自治会運営ができました。ひとりひとりがそれぞれの役割を、責任をもって果たしてくださったことはもちろんですが、楽しく活動する中で絆が生まれたことが何よりだったように思います。そして、このときの役員の皆さんとは、なかなか全員は揃いませんが、今でも時々みんなで連絡を取り合って集まり、楽しい時間を過ごしています。冗談で「会長をもう一年やったら?！」と仰っていただいたことでもあります。あのメンバーだったからこそ、私自身も頑張れたこと。自分にとっては、これからはずっと、大切な、大切な仲間です。

4番目の奇跡は、娘家族が「リベラガーデン」に引っ越してきたということ。結婚して一度はリベラを離れましたが、出産で里帰り中に同じ棟の隣の階段に空きが出て、奇跡的にそこに入居することができました。近所の皆さんに助けられ育てていただいたこの環境なら、自分の子どもも安心して育てられると思ったのかもしれません。

自治会活動は、基本的にはご近所づきあいだと思います。子育てを終えても、近所の子どもたちと顔見知りになり、みんなで育んでいこうという意識を持ったり、深いお付き合いが無くて、みんな笑顔であいさつや言葉掛けができたりと、ここにいる人たちみんなが会った小さな奇跡を大切に、支えあっていければいいなと思っています。



G棟・A村氏の

流浪の単身赴任日記

長崎編
その④

さて、前号の最後にお知らせしましたように、長崎という土地柄に関係した内容で今回もお伝えしてみようと思います。

最近の長崎のニュースといえば、世界遺産登録。(登録される以前)長崎赴任時代今回の遺産となったところを訪ねておりました。

〔近未来〕

世界遺産といえば軍艦島。ここを訪れた季節は11月です。

軍艦島への上陸ツアーを利用したのですが、その案内サイトによると、冬場に近くなればなるほど海が時化る日が多くなり、11月の接岸率(上陸率)は60%程度とありました。つまり、行ったはいいが、肝心の軍艦島へ上陸できない可能性もありだということです。案の定、当日はけっこうな揺れとなりました。出港時揺れがそれほどでもなかったため甲板に出ていたお客様が、長崎湾を出るころ波をかぶってずぶ濡れになり、船内の客室へ移動されてくるほどでしたが、我々の不安をよそに無事仮設岸壁に接岸し見学とあいなりました。

案内してくださったガイドさんは元島民の方。今は廃墟に近い状態になっている施設に関して説明していただきましたが、実際に生活してらっしゃっただけにその説明から当時の様子がよく伝わってまいります。ここでは本当に個々の生活、個々の人生が存在していたのだと改めて感じました。

施設や当時の生活ぶりについては、いろいろな形で情報が出ておりますのでこの場では割愛しますが、ガイドの方が見学の最後に言われたことが非常に印象に残っています。「今、目にしているいわば“廃墟”ともいえるこの状態が我々に語っているメッセージそのものだ」とおっしゃるのです。石炭から石油に変わったエネルギー革命の存在を伝えているのはもちろんのこと、作りあげた当時は、いかに最先端をいくすばらしい人工物であっても、いったん人の関わりが途絶えた途端、朽ちていくことに抗えないこと。さらに、島という自然に、人が完全なまでに手を加えた状態は、ある意味我々が迎える「近未来の姿」かもしれないこと。

まだ訪れていない方、これから新しい観光資源となるため、上陸にあたっての制約が多くなるかもしれませんが、一度訪れてみる価値はあると思います。

〔企業城下町〕 もう一つは前号で少しふれた下記の内容に絡む話です。

〔日本ではじめてシリーズ?〕その④

～再び路面電車で西浜町電停まで移動しますと見えてくるのが鉄橋(くろがねばし)です。これは我が国初の鉄で作られた橋になります。三菱長崎造船所の前身・長崎製鉄所が1868年に製作したもの。～

くろがね橋を製作した長崎製鉄所の後身、三菱重工業株式会社長崎造船所へも赴任の間足を延ばしておりました。長崎はやはり“三菱の企業城下町”です。この造船所が保有するジャイアントハンマーヘッドクレーンをはじめ、いくつものものが世界遺産に登録されました。

長崎市飽の浦町界隈にきますと、歴史を感じさせるレンガ塀が目に入ってきます。このあたりに本工場や資料館、三菱長崎病院等が立ち並びます。この病院、元々は社員はじめ関係者のための企業立病院です。現在外来も受け付けていますから、地域と三菱の関係(企業城下町)示しているものといえましょう。

さらに立神のあたりまで歩を進めますと、船の建造や修理が行なわれるドック群があります。付近の高台にある住宅地まで登って、ドックの全容を見ようとしたのですが、全体を見渡すことはできませんでした。しかし、造船所の象徴ともいべき巨大なガントリークレーンの一部や、ドック内にある建造中?の輸送船と思しき船の船首部分を垣間見ることはできました。造船というと基幹産業からは少し離れた感はありますが、この界隈の姿をみると、明治から培われた技術や産業は決して過去形ではないことを感じさせられます。

急速に近代化が進んだ歴史を物語るこれらの遺産群は私たちにいろいろなことをメッセージしているのかもしれない。

(G棟・A村)

次号では約3年滞在した“長崎”を離れ再び単身赴任地となった“熊本リターン編”へ舞台を移したいと思います。

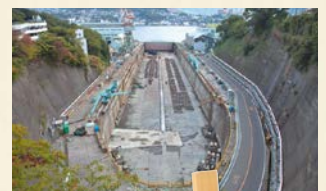
熊本リターン編へ



資料館



三菱長崎病院(昭和40年頃)



H棟 ウェストウイング 80戸



棟部会長：宮崎 米子

- 6月 棟廻りの外灯の不具合があり、半夜灯・常夜灯の状況を、深夜役員にてチェックし、管理会社へ改善工事を申請。
- 8月 管理会社より、外灯の調査及び改善工事終了の報告を受けました。
- 7・8月 植栽への散水を役員で分担し、実行しましたが、不慣れなためご迷惑をおかけした面もあり、お詫び申し上げます。来年度は管理委託契約との関係を再確認することとしました。

各専有部分のガス感知器は、棟としての交換を検討中です。

あわせて棟部会の傍聴を受け付けております。管理センターへ申請してください。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

C棟 セントラルウエスト 94戸



棟部会長：松尾 聖隆

リベ・コミ 2015年夏号の原稿執筆以降、特に報告するような活動という活動は何もありませんでした。

初夏の雨がほとんど降らなかった時期に、C棟周りの植木が枯れないように水やりをどうするか、前棟部会長（現棟部会副会長）と水やりの検討をしましたが、2～3日後に雨が降る日が続いたので実際の活動は行なっていません。

今後の予定は、10月12日に不要自転車整理の件で役員会を行なう予定になっています。

A棟 パークウイング 75戸



棟部会長：川辺 克治

役員任期は思いのほか短いもの。少なくない課題に対応するには、P-D-C-Aの発想が必要。課題を評価し、特に長期の案件は先々まで方向性を示し、本年の目標はここまでといった意思表示（計画）が欠かせない。そして適切な進捗管理と報告も。

また、住民のつづやきには、結果はどうであれ答えることが応えることになる。聞き流しが人心離れの元凶。持続性のある（人が変わっても継続可能な）活動にすること。方法論も大事、そして住民のコミュニケーションはすべての基本。少数意見に触発されることもあります。

棟懇親会始めました。

I棟 マリナタワー 192戸

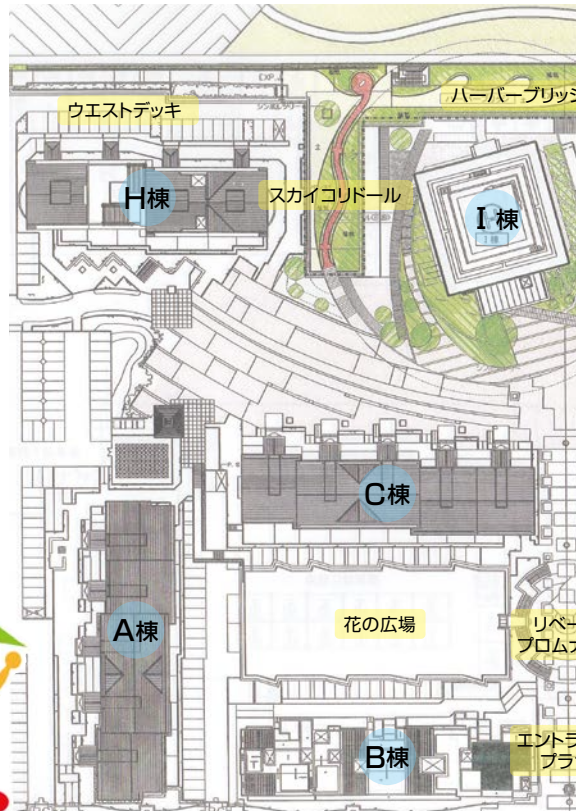


棟部会長：遠藤 元基

9/1は防災の日らしいですね。そこで火災について書いてみることにします。

火災避難時は階段で下に降りるが基本ですが、下の階が火災だったら向かって行くのは勇気がいりますね。下に降りれない状況では煙を避けるため上に登り消化までの時間を稼ぐ方法もあるようですが、ヘリポートは災害時には自動的に鍵が開くものの避難場所ではありません。というのもハシゴ車は最大40mまでで、消防や怪我人救助に消防ヘリが利用するためです。

タワーマンション特有の防災も理解しておかなきゃですね。



B棟 アベニューウエスト 42戸



棟部会長：甲斐 哲哉

みなさま、こんにちは。

朝夕はめっきり涼しくなり、皆様はお変わりないでしょうか。

第20期の管理組合役員においてはB棟より「監事」選出担当年となっており、例年と比べ1名多い5名体制として運営しております。B棟におきましては今年2月にインターホン設備リニューアル工事を実施しました。その後いかがでしょうか。お気づきの点がございましたらお申し出ください。

今後も棟部会では住民の皆様の安全と住環境の改善に活動していきます。

ご協力をお願いいたします。

だより

棟部会長さんからの
メッセージです。
みなさん、協力してそれぞれ
棟を盛り上げていきましょう。

J棟 イーストタワー 125戸

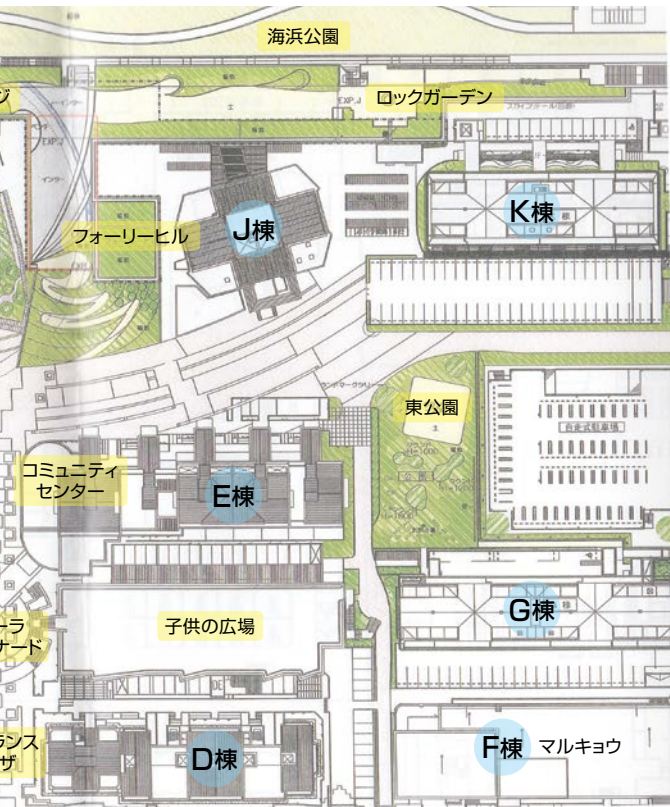
棟部会長：岩崎 正昭



棟部会長となり早数カ月がたちますが、自分の住んでいたマンションのことを何も知らず、日々勉強中です。

今、棟部会ではエレベーターについて話し合っております。玄関ホール同様、外部の方も多数利用される大切なマンションの顔であるエレベーターを、安全性やマナーはもちろんのこと、キズや落書きのない綺麗なエレベーターにしていこうと検討中です。

今後とも皆様が気持ちよく利用できるよう、ご理解とご協力をお願いします。



D棟 アベニューイースト 51戸

棟部会長：境 幸広



もう、めっきり涼しくなりましたが、今年も暑い季節の棟周囲散水の時期も、無事終わりました。

D棟では、もう20年程経過しているため、棟部会開催時に、役員の方々に近くで不具合等はありませんか？と尋ねると、非常階段のドアが閉まる音がうるさいなどの意見が出されます。

これからも、色々な意見を聞き、D棟のために頑張っていきたいと思っています。

K棟 オーシャンウイング 90戸

棟部会長：大江 千恵子



K棟では、今年度から新たな取り組みを始めております。それは、昨年度の議案であった《共用エリアの自転車等の放置防止》の実行です。リベアラ全体の課題でもありましたが、皆様のご協力もありまして、8月以降、棟内の共用部に私物を置かれる所はぐっと少なくなりました。二次災害の危険もありますので、これからもご理解とご協力よろしくお願いいたします。

最後に、K棟ボランティア数名の方々に、K棟周囲の木々に水やりをしていただいています。K棟の皆様からの感謝のお声を代表しまして、《暑い中、いつもありがとうございます。[(>人<)]》

E棟 セントラルイースト 103戸

棟部会長：重松 大介



秋風が心地よい時節となりました、皆様いかがお過ごしでしょうか。

新しい棟部会が発足してから3カ月が過ぎました。毎月の棟部会でも、だんだんと活発な意見交換ができるようになりました。

修繕等も一段落し、主な話題は生活環境についてです。特に生活マナーの向上について様々な掲示を行なっています。掲示板等の掲示をご確認いただき、ご家族の話題としていただけたらと思います。

住人の皆様ご自身の快適な生活環境作りのご協力をよろしくお願い致します。

G棟 サウスウイング 54戸

棟部会長：原田 省策



リベアラガーデンにお住まいの皆様、日頃の管理組合の活動にご協力有難うございます。また、G棟に住まいの皆様、日頃の活動にご協力頂き誠に有難う御座います。

今期G棟は11年目を迎え、大規模修繕の大事な工事の第一段階がスタートをしました。

すでに建物診断調査が入り、住民説明会を終えて修繕委員会の役員を選抜する段階まで進みました。私自身初めての経験であり、何をどう進めていいか戸惑っています。皆様の協力をお願いいたします。

前期で進めていたG棟のお茶会を今後考えております。乞うご期待！！



マイナンバーって何？

10月中旬から遅くとも11月の中ごろまでには届くと言われている「マイナンバー」の通知カード。みなさんのお手元には届いてますでしょうか？

10月末時点で1割ぐらいの方にしか届いていず、果たして11月中に届くのでしょうか？

《リベ・コミ》が届くころには、着いてないと、来年1月からの実施など無理なんじゃないでしょうか？

年金やらの情報ダダ漏れの各省庁。あなた方のセキュリティがいちばん心配なんですけど。。

と、文句を言っても始まりません。

「マイナンバー」運用さえしっかりすれば、良いことに決まっています。保険証、年金記録、各免許証などなど、いったい私たちはどれだけの番号を使って（使わされて）いるのでしょうか。それが一本化されるのだから、スッキリされて、ハッピーになるはずです。悪用、マイナンバー詐欺などなければですが。。

でしっかりベンきょうしましょう。

通知カード・個人番号カードの問合せ

☎ 0570-783-578

平日 8:30 ~ 22:00
土日祝 9:30 ~ 17:30

マイナンバー制度の問合せ

☎ 0570-20-0178

平日 9:30 ~ 22:00
土日祝 9:30 ~ 17:30

※マイナンバーに関する電話があったら（そんな電話はどこからもかかって来ないんです）、折り返し電話すると言って電話番号を聞き

消費者ホットライン（局番なし）188番へ、連絡しよう。

編集 後記

広報専門部会では、理事会に対するご意見、ホームページへのご要望、《リベ・コミ》の投稿など、バシバシ募っています。

管理センターもしくは ribera906pr@gmail.com までど〜ぞ (Y)